

人類学

年次	学期	学則科目責任者
1年次	前学期	河野 礼子 (人類学)

学習目標 (G I O)	本講義では、人類進化全般について総合的な理解を目指す。前半は進化そのものの理解や、進化過程を研究する方法、またヒトの生物としての位置付けなど、人類進化を学ぶ上で必要となる基礎的な知識を習得する。後半は実際の人類進化の過程をみていく。特に歯や骨の機能形態学的な考察を中心とし、人類進化史解明にかかわる関連諸分野の知見と合わせて紹介する。
担当教員	※河野 礼子
教科書	『歯科に役立つ人類学』 金澤英作・葛西一貴ほか わかば出版
参考図書	「ヒトの進化 —シリーズ進化学⑤—」 斎藤成也ほか 岩波書店 「絵でわかる人類の進化」 斎藤成也ほか 講談社 「人間史をたどる —自然人類学入門—」 片山一道ほか 朝倉書店 「日本人の歯とそのルーツ」 金澤英作 わかば出版
評価方法 (E V)	・平常試験を実施し、その結果によって評価する。 ・試験には全講義の内容から満遍なく出題する予定である。
学生へのメッセージ オフィスアワー	数多くのトピックスを紹介するが、個別の専門用語などをやみくもに暗記せよというのではなく、それぞれのつながりやその意味などを考え、全体像として理解してもらいたいことを望む。そのためにも講義中は質問・意見など積極的な発言を歓迎する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/15 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/04/15 (火) 1時限 09:00~10:30 B	生物の一員としてのヒト	<p>【授業の一般目標】 人間も多様な生物世界の一員であり、基本的には特別な存在ではない。生物としてのヒトの位置付けを、「分類」の基礎的な仕組みとともに理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 生物としてのヒトの位置付けを説明できる</p> <p>【準備学習項目】 生物としての自分自身について考える。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 404教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	河野 礼子
2014/04/22 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/04/22 (火) 1時限 09:00~10:30 B	進化のメカニズム	<p>【授業の一般目標】 ヒトに限らず生物について学ぶ上で欠くことのできない、進化に関する理解を身につける。生物の進化は物理法則などによって完全に説明できるものではないが、ある程度のルール・原理にもとづいたものである。これらの原理や一般的な進化の仕組みについて学習する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 生物の進化の仕組みを理解する。</p> <p>【準備学習項目】 生物の進化について具体例を調べる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 404教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	河野 礼子
2014/05/13 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/05/13 (火) 1時限 09:00~10:30 B	実際の進化過程を明らかにする方法	<p>【授業の一般目標】 ルールや原理とは別に、実際の進化の過程は言わば「歴史」であり、偶然の要素による部分も大きい。したがって、実際に起こった進化過程を明らかにするためには、過去をさぐる多様なアプローチが必要である。各種アプローチについて具体例をあげながら学習する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 実際の進化の過程を明らかにする方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 進化史を解明する方法について考える。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 404教室</p>	河野 礼子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/05/13 (火) 1時限 09:00~10:30 B	実際の進化過程を明らかにする方法	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/05/20 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/05/20 (火) 1時限 09:00~10:30 B	歯や骨からわかること (1) 機能と形態	【授業の一般目標】 生物進化の歴史をたどる際に、もっとも重要な材料となるのが、その生物の歯や骨などの遺残物である。人類進化研究においても、数百万年におよぶ進化史も、日本人の数千年の道のりも、いずれも主として歯や骨の研究を通じて理解されてきた。歯や骨からどのように進化の歴史を解明していくのかを二回にわたって学ぶ。一回目は主に骨や歯の形と機能の関係に着目する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 骨や歯の形と機能の関係について説明できる。 【準備学習項目】 ヒトの全身の骨について調べる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/05/27 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/05/27 (火) 1時限 09:00~10:30 B	歯や骨からわかること (2) 生活史と小進化	【授業の一般目標】 二回目は人骨資料を対象とした研究方法について学習する。個体のアイデンティティや暮らしぶりから、集団としての特徴、移動の歴史まで、様々な情報がどのように得られるのかを学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人骨資料から個体についてどんな情報が得られるのか説明できる。 【準備学習項目】 人骨資料から得られる情報について考える。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/06/03 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/06/03 (火) 1時限 09:00~10:30 B	霊長類の一員としてのヒト (1) ヒトの位置づけ	【授業の一般目標】 ヒトは霊長類の一員である。ヒトはこの霊長類というグループの一般的な特徴と、このグループ内でも特異なヒト特有の特徴とを併せ持っている。このあとのヒトの進化史を学ぶための基礎として、霊長類としての特徴・ヒトの独自性について学ぶ。さらに類人猿と比較した場合の、ヒトの形態的な特徴とその意義を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 霊長類としてのヒトの、特徴と独自性を説明できる。 【準備学習項目】 霊長類について調べる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/06/10 (火) 1時限 09:00~10:30 A 2014/06/10 (火) 1時限 09:00~10:30 B	霊長類の一員としてのヒト (2) 現生霊長類に学ぶ	【授業の一般目標】 現生の霊長類、特に現生大型類人猿の社会性や行動・生態などを調査する比較行動学的研究が、ヒトの進化研究のモデルケースとしてなぜ重要なのかを理解し、実際の研究の現状をみる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ヒトの進化のモデルケースとしてなぜ現生霊長類を知ることが重要なのか説明できる。 【準備学習項目】 現生大型類人猿の社会・行動・生態などについてどんなことがわかっているか調べる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室	河野 礼子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30 B	霊長類の一員としてのヒト (2) 現生霊長類に学ぶ	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/06/17 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/17 (火) 1時限 09:00～10:30 B	人類の進化 (1) 霊長類の進化とヒト科の出現へ	【授業の一般目標】 以降5回にわたってヒトの進化史をたどる。1回目は霊長類出現以降の霊長類の進化史を概観し、ヒト科出現前夜までを追う。 【行動目標 (SBOs)】 1. 霊長類の進化史の概略が説明できる。 【準備学習項目】 霊長類の進化史に関連する最近の話題を探す。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30 B	人類の進化 (2) 猿人	【授業の一般目標】 ヒト科の最初の生き物である猿人について、これまでにわかってきたことを学ぶ。彼らをヒトとする根拠となる形態特徴等について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 猿人の特徴を説明できる。 【準備学習項目】 猿人について調べる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/07/01 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/01 (火) 1時限 09:00～10:30 B	人類の進化 (3) ホモ属の誕生と発展	【授業の一般目標】 出アフリカをはじめて果したホモ属の人類について、猿人との身体的違いを理解し、その出現の背景と発展の様相を学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. ホモ属の人類と猿人との違いを説明できる。 【準備学習項目】 ホモ属の人類の特徴を調べる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/07/08 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/08 (火) 1時限 09:00～10:30 B	人類の進化 (4) ホモ・サピエンスの起源と拡散	【授業の一般目標】 全世界中へ居住域を広げて今日へとつながるホモ・サピエンスの進化史を学ぶ。現在の世界各地に見られる地域集団の特徴とその形成の意義を調べる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ホモ・サピエンスの起源について説明できる。 【準備学習項目】 各地の現代人の地域集団の特徴を調べる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/15 (火) 1時限	人類の進化 (5) 日本列島のヒトの進化	【授業の一般目標】 日本人の起源と現在の日本人集団へ至る道のりについて、これまでに明らかになってきたことを、関連するさまざまな具体的研究例の紹介をまじえて概観する。 【行動目標 (SBOs)】	河野 礼子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30 B	人類の進化 (5) 日本列島のヒトの進化	1. 日本人集団の形成史について説明できる。 【準備学習項目】 日本人集団の形成史を調べる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/07/22 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/22 (火) 1時限 09:00～10:30 B	歯の人類学	【授業の一般目標】 人類進化の研究において、歯という存在がこれまでに果たしてきた役割は非常に大きい。最近でも、歯の形態や機能を評価する新しい視点や手法の提案がしばしばなされ、新たな理解につながっている。歯を題材としたさまざまな研究やそこから得られた解釈などを紹介する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人類進化の研究において、歯がどのような対象となってきたか、実例を紹介できる。 【準備学習項目】 歯を題材にした人類進化研究の実例を調べる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/07/23 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2014/07/23 (水) 1時限 09:00～10:30 B	平常試験	【授業の一般目標】 平常試験を行なう。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人類の進化史について自分なりの理解がもてる。 【準備学習項目】 これまで学習したことを復習する。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子
2014/09/09 (火) 1時限 09:00～10:30 A 2014/09/09 (火) 1時限 09:00～10:30 B	まとめ	【授業の一般目標】 これまで学習したことをまとめ、発展的学習へとつなげる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人類進化について自分なりの考えを説明できる。 【準備学習項目】 人類進化について自身の考えをまとめる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 404 教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	河野 礼子